

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターぐるんぱさか(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもさん一人一人の障害特性や気づき等のアセスメントを行い、個別化された支援を行っている。	・継続的にアセスメントを行い子どもさんの実態(理解や気づき等)に合わせた支援を、職員全体で検討し、実施している。	・日頃から子どもさんの様子について職員間で共有する。 ・積極的に研修に参加するなど、職員一人一人のスキルアップに努める。
2	・構造化や視覚的支援等の手法を用いて、障害特性に合わせた環境設定での療育を行っている。	・視覚的なスケジュールを活用し、子どもさんが見通しを持って行動できるように支援している。 ・視覚的な手立てを活用して、自発的なコミュニケーションの練習をお行っている。	・継続的にアセスメントを行いながら、手立てや活動設定等を行う。 ・必要に応じて再構造化(環境設定の見直し)を行い、より自立して活動に取り組むことが出来るようにする。
3	地域やご家庭のニーズに合わせたサービス提供を行い、連携を図っている。(保育園との併用利用等)	・見学や面談時に保護者の方のニーズの聞き取りを行い、ニーズやご家庭の状況に合わせた利用形態について提案をしている。 ・保育園併用利用の場合は、事前に保育園との情報共有を行い、利用開始後も密に連携を図っている。	・子どもさんやご家庭のニーズに合わせた支援を行う。 ・保護者、保育園と継続的に情報共有を行い、共通認識を持って支援を行うことが出来るようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今年度開所したこともあり、地域の方に事業所が行う療育や取組について十分に周知されていない。	・地域の方や保護者の方向けの説明会を開催しているが、現状として参加へのハードルが高い可能性もあるため、開催する際には、対象者や会場等を検討していく必要がある。 ・事業所が行う療育を知っていただけるよう体験教室を開催している。参加いただき、利用に繋がってはいるが、人数自体は少ないため、今後も積極的に情報提供していく必要がある。	・事業所の療育内容や取組等について、法人ホームページや地域の会報等を活用して情報発信していく。 ・各関係機関と連携しながら、体験教室や発達相談等を通じて事業所が行う療育について知っていただき、必要な方に利用していただけるよう努める。
2	避難訓練の実施、マニュアル作成・周知	・避難訓練を実施しているが、子どもさんの利用状況や体制の都合上、すべての子どもさんの参加が出来ていない。 ・現在各マニュアルを作成中である。	・生活シナリオや職員体制を調整しながら、必要な訓練を実施できるようにしていく。 ・必要なマニュアルの作成を行い、保護者の方に周知する。
3	保護者の方向けの研修や交流の場の設定が出来ていない。	・開所して間もないこともあり、体制が整えられていない。	・法人内の他事業所と調整しながら、保護者の方向けの研修等の実施を検討する。 ・保護者の方のニーズに合わせて、必要に応じて保護者同士の茶話会等の開催を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センターぐるんぱさか(児童発達支援)						公表日	2025年2月14日	
						利用児童数	2025年 1月 6日 (3名)		
							回収数	3	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1		2			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センターぐんぱさか(児童発達支援)		公表日		2025年2月14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・子どもさんの特性や気づきに合わせて活動設定をしている ・子どもさん同士の相性や一つのエリア内の人数に配慮しながら活動調整をしている	・定期的に生活シナリオを見直して、必要に応じて活動の設定や環境設定の調整をしていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子どもさんの特性や相性等に配慮し、職員が間に入って対応出来るようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもさんの特性に合わせて活動に必要なものは見えなくしておく等環境を設定している。	・子どもさんの障害特性や気づきに合わせた環境の中で、手立てなどを活用しながら課題・活動設定をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を行っている。	・引き続き室内の清掃・消毒を行います。 ・定期的におもちゃの欠損や不備などがないか確認を行い、必要に応じて整備します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもさんの特性や状態に応じて、個別で活動できるエリアを設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・週ミーティングを行い、業務の目的の共有や振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今年度より開所し、年に一度は保護者の方に評価をいただく機会を設けていく予定である。 ・送迎時や懇談時等、保護者の方のニーズを把握している。	・今後も、評価表と併せて、送迎時や懇談時、連絡帳など日頃のやりとりの中でも、保護者の方のニーズを把握し、対応していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週ミーティングを行い、職員間で議題を出し合い、検討したり、情報共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・法人全体で協議、検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に法人内研修や講師による研修を受けられる機会が設けられている。	・今後も職員の専門性を高めていくために、積極的に研修に参加します。 ・研修受講後は、事業所内全体で共有し、支援方法などを検討したりする機会を設けます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・法人ホームページで公表している。	・継続的に支援プログラムを見直していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・子どもさんの様子や状況に合わせて個別支援計画を作成している。 ・定期的にモニタリングを行い、保護者の方と面談を行っている	・継続的にアセスメントを行い、子どもさんの様子や課題、保護者の方のニーズを踏まえながら支援を行います。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・管理責任者以外の職員も支援計画の内容を検討している。	・今後も、職員間で子どもさんの状況などを整理し、支援を検討していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画を職員間で共有し、それをもとに支援を行っている。	・支援の変更や追加がある場合には、職員間で共有し、一貫した支援を行います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・療育の中で子どもさんの様子の変化があれば週のミーティング等で共有している。 ・事業所内での共通の様式で、項目や評価表に沿って確認している。	・入園前のアセスメントだけでなく、入園後も継続的にアセスメントを行い、子どもさんの理解やスキルに合わせて支援を行います。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・園で設定された様式を使い、各領域ごとに細分化した内容で個別支援計画を作成している。	・今後も、子どもさんの様子や保護者の方のニーズを踏まえて、各領域での個別支援計画を作成します。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・週のミーティングで協議し、実施している。	・職員全体で活動プログラムの協議、振り返りをしながら進めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節や行事に合わせて、様々な活動を行うことができるよう活動内容を設定している。 ・活動の流れが固定化しないよう調整している。	・季節や行事に合わせた活動を、子どもさんの理解やスキルに合わせて検討します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・社会性の発達に合わせて活動のメンバーを調整している。 ・個別場面から集団場面に、段階を踏んで取り組んでいる。	・継続的に社会性の発達段階のアセスメントを行い、個々の社会性の段階に合わせた活動の機会を設定します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼を行い、職員間で支援の内容や役割分担、こどもの情報を共有している。	・子どもさんや予定について情報共有を行い、一貫した支援を行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・週に一度のミーティングで、支援の振り返りや今後の支援についての検討をしている。	・今後も、定期的に振り返りを行い、今後の支援に繋げていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・子どもさんの変化や新しい支援について、ケース記録を作成・共有している。	・ケース記録と併せて、定期的に支援の振り返りを行います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年2回、モニタリングを実施し、支援計画に反映している。	・今後も定期的なモニタリングを行い、子どもさんの実態に沿った支援計画を作成します。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の相談員や保健師、保育園や学校と連携し、支援を行っている。	・今後も、関係機関と連携をしながら支援を行います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・中抜けでの利用等、保育園との併行利用での受け入れもしている。 ・併行利用している子どもさんについては、随時保育園の先生と子どもさんの様子や支援等の共有をしている。	・子どもさんの実態やご家庭の状況を踏まえた利用の仕方を検討します。 ・併行利用されている子どもさんについては、保護者の方と保育園との情報共有を行い、共通認識を持って支援を行うことが出来るようになります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学時や他事業所への移行に際し、移行支援会議を行う。	・移行先の職員、対象児童の保護者、相談支援事業所の相談員(、保育園との併行利用の児童は保育園の先生)にも参加していただき、移行資料に基づいた連携を行います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・専門家に施設にお越しいただき、助言を受けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・子ども部会に参加している。	・今後も、地域のニーズに等について共有を行い、課題解決に向けて協力していきます。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・保育園との併行利用の子どもさんについては、保育園の中で他の子どもさんと活動をしている。	・子どもさんの障害特性や保護者の方のニーズを基に、設定について検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時に直接お話ししたり、連絡帳等のやり取りを通して子どもさんの状況等の情報を共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・定期的な懇談と併せて、必要に応じて面談を行っています。	・保護者の方が、子どもさんの障害特性の理解や支援方法等の情報が得られるような場を設定していきます。 ・家庭訪問を行い、ご家庭での支援や環境設定等についても共有していきます。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・入園前の契約時に、書類を用いて説明している。	・必要に応じて、入園後も必要な内容について説明を行います。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・懇談時に保護者の方のニーズや現状の聞き取りを行い、支援計画の確認を行っている。	・今後も、子どもの実態や保護者の方のニーズを踏まえて支援計画を作成します。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・年に2回の個人懇談で、保護者の方と支援計画の共通認識を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・個人懇談や面談を行い、必要に応じて家庭訪問を行っている。	・今後も、個人懇談や面談等を行い、保護者の方からの相談に応じ、支援していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・保護者の方からのニーズに合わせて、機会の設定等を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・担当者を配置している。	・受け付けた内容については書面で記録し、対応や改善方法を職員全体で協議・共有します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・法人ホームページのブログに活動の様子等を発信している。	・月の予定や活動の様子を定期的に発信し、保護者の方に様子を知っていただけるようにします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真の使用に関して事前に確認を行い、書面で同意を得ている。	・職員全体で意識して取り扱います。また、適切な取り扱いについて協議します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・それぞれの子どもの理解に合わせた手立てを活用しながら支援している。	・子どもさんの理解やスキルに合わせて、継続的にコミュニケーションの支援を行います。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・法人全体で実施している。 ・施設内の見学や説明会等の機会を設けている。	・今後も、地域の方に取り組みをしていただけるような事業運営を検討していきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・感染症対策や対応について協議している。	・感染症や緊急時の対応についてのマニュアルを、協議し作成します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・月1回、避難訓練を実施している。	・定期的に避難訓練を実施します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者や職員全体で服薬等の情報を共有している。	・服薬量に変化があった場合には、職員全体で共有し、子どもさんの様子の変化がないか注意します。 ・保護者の方に確認しながら、服薬やてんかん発作等のマニュアルを作成し、対応します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者の方にアレルギー確認同意書を記入していただいている。 ・週ミーティングを行い、職員間でアレルギーのある児童の給食提供方法や職員の対応方法について確認・共有をしている。	・アレルギー反応が出た際の対応方法について、職員全体で確認・共有します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・子どもさんの安全確保の取り組みについて、保護者の方に周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎週のミーティングで、ケガやヒヤリハットがあれば共有し、対策を検討している。	・ケガやヒヤリハットへの対応を職員全体で共有し、再発防止に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修の機会を定期的に設定している。	・今後も継続的に研修に参加し、職員一人一人が意識していけるようにしていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・必要な対応について保護者の方に説明し、了承を得ている。	・必要な対応がある場合には、保護者の方への説明を行います。 ・事業所全体で協議し、子どもさんの障害特性や理解に合わせた支援を行います。	